がん研究会　情報公開文書

複数施設研究用

IRB番号「2022-GB-172」

研究課題名「短鎖型APC変異を有する大腸癌症例の臨床病理学的特徴に関する観察研究」

１．研究の対象

・対象はがん研有明病院消化器化学療法科で転移再発大腸癌に対して化学療法が行われた症例（虫垂癌、肛門管癌、Goblet cell carcinoidは除く）。
・上記症例の中で、GOZILA研究を含めた次世代シーケンサーで遺伝子解析が行われ、短鎖型APC変異を有する大腸癌症例の診断が可能である方。

２．研究の目的・方法

・短鎖型APC変異を有する大腸癌症例の臨床病理学的特徴を明らかにする。
・ロジスティック回帰分析（多変量解析）で、短鎖型APC変異を有する大腸癌症例の臨床病理学的特徴を探索する。
・Cox回帰分析（多変量解析）で全生存期間に対する短鎖型APC変異を有する大腸癌症例の影響を探索する。

３．研究期間

承認日　～　2026年03月31日

４．研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。
情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況等
試料：組織、血液

５．外部への試料・情報の提供

なし

６．研究組織

研究代表者 がん研有明病院　消化器化学療法科 副部長　篠崎英司
研究事務局 がん研有明病院　消化器化学療法科 副医長　大隅寛木

分担医師：
がん研有明病院　消化器化学療法科
山口研成、高張大亮、大木暁、若槻尊、中山厳馬、福岡聖大、小倉真理子、福田晃史郎、吉野光一郎、宇田川翔平

国立がんセンター東病院　消化管内科（GOZILA研究の情報を用いるため）
中村能章、坂東英明、吉野孝之

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さ

んに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人　がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者　消化器化学療法科　副部長　篠崎 英司
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表)　FAX番号03-3520-0141

研究代表者：

公益財団法人　がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者　消化器化学療法科　副部長　篠崎 英司
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表)　FAX番号03-3520-0141